

提言者研修会（オンライン開催）実施要項

1. 目的

- ・本大会のサブテーマや研究協議の視点などについて、提言者及び関係者が共通理解を図る。
- ・全公教研究部及び分科会関係者が分科会提言者の発表を聞くとともに、その内容について協議することにより、本大会における提言内容の充実を図る。
- ・提言者研修会の運営を通し、本大会で運営に携わる役員が個々の役割や運営において必要なことについて理解を図る。

2. 開催期日

令和4年1月22日（土）

3. 開催方法

ZOOM ミーティングによるオンライン開催。※分科会はブレイクアウトルームを設定。

4. 場 所

- ・盛岡市立下橋中学校（事務局：ホスト会場）
- ・全公教本部、提言者及び参加者勤務校など

5. 日程及び内容、次第等

(1) 全体会

司会：大会実行副委員長（相原伸裕）

時 間	内 容	担 当
9 : 3 0	ZOOM 接続開始、接続確認、出席確認 【全体会】	大会研究部全体係、新和企画
1 0 : 0 0	①開会の言葉	大会副実行委員長(川崎喜生)
1 0 : 0 1	②全公教会長挨拶	全公教会長(長谷川右)
1 0 : 0 5	③岩手大会実行委員長あいさつ	大会実行委員長(高橋邦明)
1 0 : 1 0	④第64回岩手大会の意義について	全公教研究部長(松井良彰)
1 0 : 1 5	⑤助言者、提言者、参加者紹介	大会実行副委員長(山本勝彦)
1 0 : 2 0	⑥岩手大会の概要について	大会事務局長(渡邊康二)
1 0 : 2 5	⑦研究主題、サブテーマ、 研究協議の視点について	大会研究部長(井藤 聡)
1 0 : 3 0	⑧本日の分科会の進め方、今後の 日程等について（最終提言原稿 締切までの日程・提言補助資料・ 提言方法等）	大会研究副部長（分科会係長）（小松順一）
1 0 : 3 5	⑨質疑応答及び諸連絡	司会
1 0 : 4 0	⑩閉会の言葉	大会副実行委員長(川崎善生)

(2) 分科会 ※1分科会につき1つのブレイクアウトルームを設定。同時進行で行う。

ア. 1～5分科会

時 間	2、3、4分科会 次第	1A、1B、5A、5B分科会 次第
	【分科会①】	【分科会①】
1 1 : 0 0	①開会（司会）	①開会（司会）
1 1 : 0 1	②参加者自己紹介	②参加者自己紹介
1 1 : 0 5	③分科会の進め方確認（司会）	③分科会の進め方確認（司会）
1 1 : 1 0	④提言発表1（提言者）	④提言発表1（提言者）
1 1 : 3 0	⑤質疑応答・協議	⑤質疑応答・協議
1 1 : 3 5	⑥指導助言（全公教研究部）	⑥指導助言（全公教研究部）
1 1 : 4 5	⑦協議の柱検討	⑦協議の柱検討
1 1 : 5 0	⑧閉会（司会）	⑧閉会（司会）
(昼食・休憩)	【分科会②】	【分科会②】
1 3 : 0 0	①開会（司会）	①開会（司会）
1 3 : 0 1	②分科会進め方確認（司会）	②分科会進め方確認（司会）
1 3 : 0 5	③提言発表2（提言者）	③提言発表2（提言者）
1 3 : 2 5	④質疑応答・協議	④質疑応答・協議

13:35	⑤指導助言（全公教研究部）	⑤指導助言（全公教研究部）
13:45	⑥協議の柱検討	⑥協議の柱検討
13:50	⑦閉会（司会）	⑦閉会（司会）
（休憩）		※終了後退室
	【分科会③】	
14:00	①開会（司会）	
14:01	②分科会進め方確認（司会）	
14:05	③提言発表2（提言者）	
14:25	④質疑応答・協議	
14:35	⑤指導助言（全公教研究部）	
14:45	⑥協議の柱検討	
14:50	⑦閉会（司会）	
	※終了後退室	

イ. 第6・特別分科会 I

時間	次第
11:00	①開会（司会）
11:01	②参加者自己紹介
11:05	③分科会の内容等について担当者打ち合わせ
	④閉会（司会）
11:50	※終了後退室

- (3) 東北研究部長会 15:00～16:30
※ブレイクアウトルームにて開催

6. 参加者

【全公教】会長、副会長、研究部長、研究部員、総務・調査部長、事務局、顧問会幹事長

【提言者】全提言者17名

【次年度及び次々年度開催県事務局等】石川県、高知県

【岩手大会実行委員会】運営委員、研究部員

※分科会ごとの助言者・提言者・司会者（運営責任者）・記録者一覧は別紙のとおり。

※分科会に参加しない参加者は、各分科会の巡回参観とする。

全公教関係者（研究部員以外）・石川県・高知県…ブレイクアウトルーム巡回

岩手県運営委員…現地での会場巡回

7. 研修会までの準備計画

- 提言原稿及びプレゼンデータ提出締め切り **令和3年11月25日（木）【期限厳守】**
- 大会事務局は提出された提言原稿に交流カード・執筆要領等を添付したものを原稿確認担当者に送付する。
令和3年12月3日（金）まで
- 原稿確認担当者は原稿のチェックを行い、訂正箇所には朱書き等を入れ、意見や気づいたことを交流カードに記入しておく。（交流カードは提言者研修会までに記入しておき、協議の際に活用するとともに提言者研修会終了後、提言者及び大会事務局に送付し、原稿の修正に活用する。）
○令和3年12月6日（月）～10日（金）の期間に行う。
○岩手・東北地区以外の提言者分…全公教研究部員 岩手・東北地区の提言者分…岩手大会研究部員
※原則として提言原稿及びプレゼンデータ等の訂正は提言者研修会後に行うこととし、この段階では必要最小限の訂正（誤字・脱字等）とする。
- 原稿確認担当者は、訂正箇所を加えた原稿データを提言者及び大会事務局に送付する。
令和3年12月15日（水）まで
- 提言者は**必要最小限の提言原稿の修正**を行い、訂正版原稿データ及び訂正版プレゼンデータを大会事務局に送付する。※訂正の必要がないときは送る必要なし。
令和3年12月24日（金）まで
- 大会事務局は提出された訂正版原稿をとりまとめ、大会要項・原稿集録・オンライン会議開催マニュアル（ZOOMの操作方法等を記載）を関係者に発送する。
令和4年1月13日（木）

8. その他

事前打ち合わせ及びZOOM接続テスト（参加者：全公教事務局、全公教研究部、提言者、岩手県実行委員長・事務局・研究部・オンライン担当、石川県事務局、高知県事務局）を令和4年1月18日（火）16:30より行う